

# 長良川新能

〈とき〉平成二十三年 八月二十六日(金)

能

## 鞍馬天狗

鞍馬の寺の牛若丸と平家の子どもの元  
に、花見の誘いが来ます。  
花見に出掛けてみると先に山伏がいたの  
で、一行は牛若一人を残し帰ってしまいます。  
牛若に親近感を持った山伏は、実は鞍馬に棲む大天狗であること

を明かし、驕る平家を滅ぼすために力を貸すことを約束します。  
大天狗の元で武芸の稽古に励む牛若は腕を上げ、奥義を伝授した  
大天狗は去ろうとしますが、牛若は寂しさのあまりすがりつきます。  
大天狗は遠く西海の合戦であっても姿は見えずとも付いていくこ  
とを約束し、山の中へ消えていくのでした。



## 観世喜正

観世流シテ方。1970年生。  
2歳半で初舞台。  
全国各地での公演の他、普  
及活動、講演、能楽教材の  
ソフト化、謡曲指導を行う。  
[のうのう能]「喜正の会」  
「能の旅人」主宰。社団法人  
観世九草会、公益社団法人  
能楽協会理事。法政大学大  
学院、皇學館大学文学部非  
常勤講師。TV「にっぽんの  
芸能」(NHK)、著書「演目  
別に見る能装束」(淡交社)、  
DVD「スピカろうそく能  
鉄輪」『大般若』『道成寺』  
(日本伝統文化振興財団)な  
ど。



## 後藤嘉津幸

幸清流小鼓方。1969年生。  
6歳で初舞台。  
世界各地の公演にも参加。  
1997年より能楽「鏡座」同人  
として10年間活動。2004  
年度名古屋市民芸術祭賞。  
2007年から長良川薪能開  
催に尽力。「能の旅人」主宰。  
岐阜まつり「安宅車」囃子指  
導の他、加納天神まつり  
「鞍馬車」囃子復活・指導や、  
美濃市「流し仁輪加」楽器整  
備など。飛騨市主催 復曲  
「藤橋」作詞・出演。大河ド  
ラマ「功名が辻」小鼓指導。

狂言

## 樋の酒

主人が所用で出掛ける際、太郎冠者には米  
蔵の番、次郎冠者には酒蔵の番をそれぞれ言  
いつけて行きます。  
それぞれの蔵に入った二人は窓越しに話を  
しますが、そのうち次郎冠者は蔵の酒を飲み始め、飲みたくても蔵  
を空けられない太郎冠者は…  
人間国宝・野村萬の至芸をお楽しみください。



## 野村 萬

和泉流狂言方。1930年生。  
日本を代表する狂言の第一  
人者。世阿弥の唱えた「舞  
歌」と「物真似」を両立させ、  
正統派の狂言を確立。その  
品格は他の追随を許さない。  
現在も多くの舞台上で活躍  
する傍ら、後進の育成にも  
力を注ぐ。  
1997年重要無形文化財個人  
指定(人間国宝)。2001  
年日本芸術院会員、2008  
年文化功労者。  
(社)日本能楽協会理事長。  
(社)日本芸能実演家団体協  
議会会長。名誉都民。

今回は特別に、公募で選ばれた子どもたちが  
平家の稚児の役を演じます。



伊藤 結菜 内田 愛華 内田 夢華 小田実那美  
笠原 健慎 菊永 紗央 久世 進 小森 千裕  
近藤 寛 酒井 裕司 佐藤 志乃 高井憲太郎

### 公募の子どもたちによる謡出演

浅野友理奈、鶴飼達哉、笠原古万知、京谷咲穂、久世宏、  
酒井彩乃、佐藤健太、武山夏実、早瀬雄太、原田明典、  
藤井亮、松井帆乃香、松久健二郎、矢田部雄山

50音順



●主催 長良川薪能実行委員会・岐阜市  
●後援 岐阜県・岐阜県教育委員会

### 交通のご案内

- 長良川特設舞台  
JR岐阜駅バス停 ⑫番 又は 名鉄岐阜バス停 ④番  
[N33 三輪釈迦]又は[N32 岩井山かさ神]行き「長良川温泉(岐阜グランドホテル前)」下車
- 岐阜市民会館(雨天または増水時の会場)  
岐阜バス 「市民会館前」「市民会館・裁判所前」下車すぐ

●ビデオ及び写真撮影は、禁止させていただきます。 ●上演中の飲食はご遠慮下さい。  
●座布団をご持参いただくと便利です。